

## つつじが丘地域

	【現在】	【これから】
課題	「居場所づくり」 「生活支援のゴミ処理」 「支援の必要な方の情報がない」 「地区社協解散に伴う事業の引継ぎ」	「担い手不足」 「移動手段」 「空家・空地の相続」
取組み	「生活支援事業」 「高齢者サロン」 「子育てサロン」 「配食サービス」 「認知症高齢者への取組み」	「空家の活用」 「世代間交流事業」 「番町単位での居場所づくり」 「外国人の受け入れ教育」

### まとめ

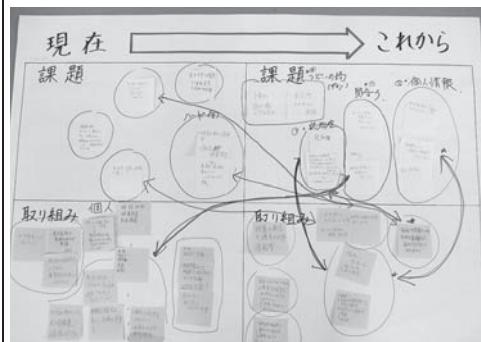
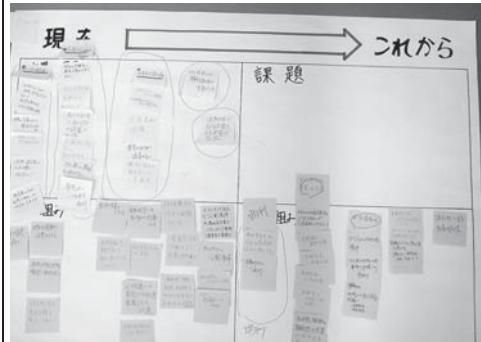
高齢者や子育てに関する取組みをすすめるにあたり、対象者を把握するための情報が欲しいという意見が多数ありました。

空家問題では居場所づくりの場として活用できないか、運転免許証返納後の外出問題では「はーとバス」の行き先を増やせないかななど課題解決に向けて話し合われました。

生活支援の活動のなかで、大型ゴミを処分場に持ち込む際は利用者と一緒に行かなければならないことや、建設廃材は産廃業者でないと処理できないなどの課題について、活動者以外の方とも共有しました。

また、地区社協が平成29年度をもって解散となるため、地区社協が行っていた事業の引継ぎが現在の課題に挙がりました。

そのほか、地域で現在取り組んでいる認知症高齢者への取組みに全面的に協力して欲しい、子育て世代の外国人家族の転入が増加しているので受け入れ教育をして欲しいなど、地域だけでは取り組みにくい点について行政の協力が必要という話もありました。



## 錦生地域

	【現在】	【これから】
課題	「人口減少」「後継者不足」「担い手不足」「生活支援」「かかわり拒否」「交通手段」「鳥獣対策」	「集いの場」「介護者支援」「空家対策」
取組み	「見守り、声かけ」「世代間交流」「休耕地活用」「災害弱者への支援」	「訪問」「配食サービス」「集いの場を増やす」「信号機設置」「移動支援」

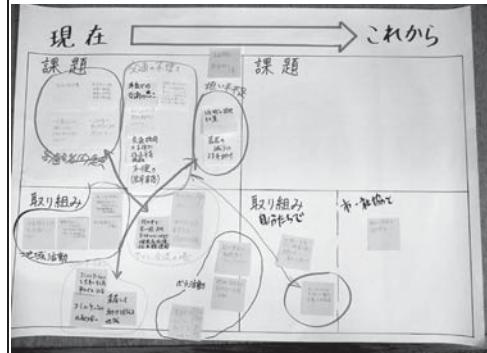
### まとめ

公共交通機関等移動手段が少ないとやバス停までの移動も困難であること、運転免許証返納等により外出困難となっていることから、移動支援や配食サービスが必要という意見がでました。

見守りや声かけをしているなかで気になる人がいても、本人がかかわりを拒否している場合があり、対応に困っているという意見や、小学校跡地に講師を招いて市民大学を行いたいという意見もありました。

また、市民センターまで集まりにくい状況があるので、身近な地区での生きがいづくりの場や、介護者の悩みなどを聞く介護者支援の場をつくることが必要だということから、もう一つの課題である空家の利用ができないかという話合いが行われました。

そのほか、交通量の多い国道の横断が困難なため信号機の設置や、高齢者へのタクシー券配布について、行政の協力を得られないか、といった意見もありました。



## 赤目地域

	【現在】		【これから】	
課題	「ゴミ出し」 「子どもの見守り」 「男性の行事参加」	「高齢者の移動手段」 「公園の整備」 「若者の行事参加」	「困窮」 「空家の増加」 「世代間交流」	「農業の後継者不足」 「見守り」
取組み	「カレー亭」「健康教室の実施」「公園づくりに取り組み中」		「移動外出支援・日常生活支援」「だれでも食堂」「移動販売車」	「移動カフェ」「ゴミの出し方説明会」

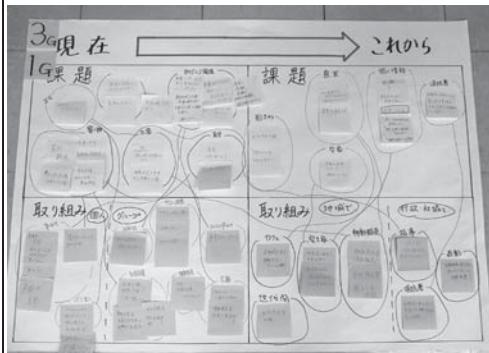
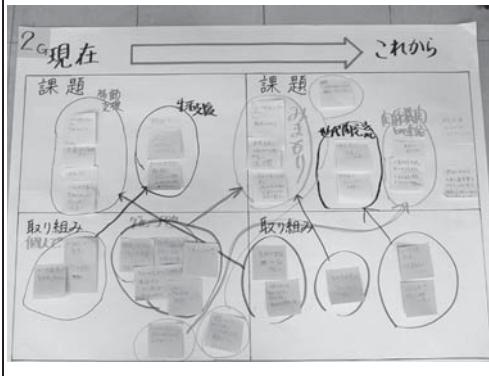
### まとめ

高齢者の移動支援、農業の後継者不足や空家対策、野菜販売の場がないといった複数の課題が出ましたが、これらをうまくつなぎあわせて、移動販売車や空家を利用した野菜販売といった取組みの案が出されました。

また、新しい取組みについても、だれでも食堂や移動カフェなどのアイデアがたくさん出ました。さらに、今年は健康教室にスクエアステップを取り入れたことで、日ごろ行事に参加しない男性が来てくれてよかったですという意見もありました。

地域行事への住民参加が少ないことが課題にあがっており、青年部をつくって地域活動に参加してもらうように現在取り組んでいることや、市民センターへ集まる方法から各地区へ出向く取組みについての意見交換が活発に行われました。

すでに取組みの準備が始まっている公園の整備や移動外出支援・日常生活支援については、課題の解決に向けて必要な取組みであることを再確認しました。



## 箕曲地域

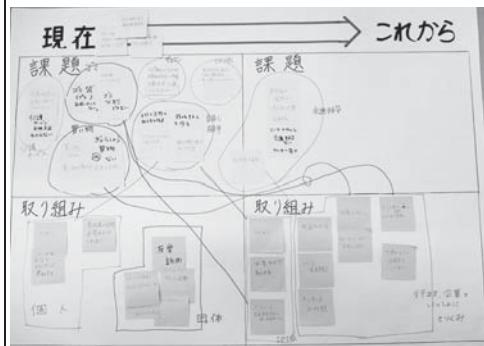
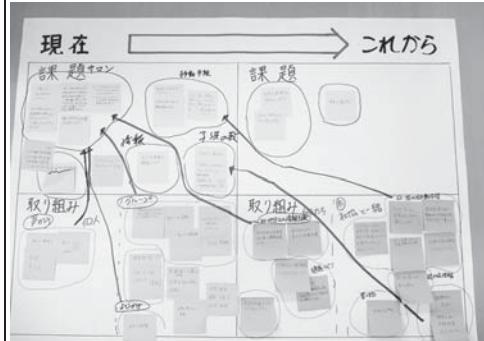
	【現在】	【これから】
課題	「生活における課題」「地域内のつながり」 「地域の担い手不足」「地域の情報不足」 「高齢者の見守り」「移動手段」	「地域内のつながり」「地域機能の存続」 「行政との役割分担」「活動の継続性」 「高齢者の緊急時の対応」
取組み	「声かけ・見守り訪問」「サロン」「スクエアステップ」	「地域内のつながり」「交通機関の充実」「地域機能存続の取組み」「買物支援」「地域での居場所づくり」

### まとめ

「地域内のつながり」をキーワードに、特にひとり暮らし高齢者等緊急時対応の体制が確立されていないという点や、区へ加入していない方や地域や近隣者との関係を拒んでいる方への対応といった点が地域の課題であることを共通認識としました。そのうえで、まずは、住民自らが身近なところからできるあいさつ等から取り組んでいくことをはじめ、住民の主体性を向上させていくという意見が出ていました。

また、住民の居場所づくりとして実施しているサロンや活動者自らが楽しみながら認知症・健康予防の取組みとして実施しているスクエアステップ等を継続していくなかで、住民の居場所を広げていくとともに新たな人材育成にも取り組んでいくことが必要であると共有しました。

買物支援や交通機関の充実等といった、住民だけでは解決できない生活課題については、行政や社協等の関係機関とともに知恵やアイデアを出しながら取り組む必要性について共有を図りました。



## 百合が丘地域

	【現在】		【これから】	
課題	「担い手不足」 「交通問題」 「ゴミ出し」	「外出しない高齢者」 「子ども」	「担い手の高齢化」 「子ども」 「行事への参加促進」	「若者の定住」 「各組織の連携」
取組み	「介護予防」 「配食」 「登下校時の声かけ（8・3運動）」	「サロン」 「地域資源の発掘」	「ゴミ出し支援」 「地域の人材バンク」 「空家の活用」	「世代間交流」

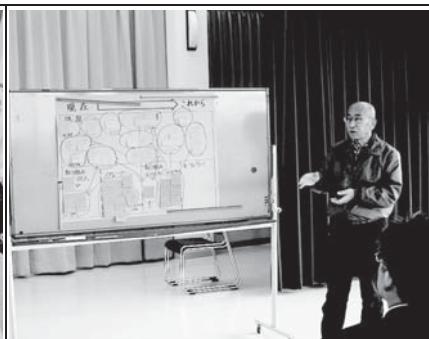
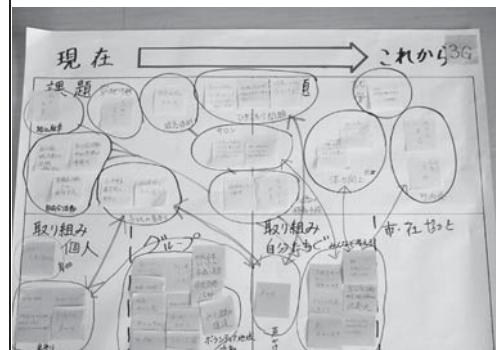
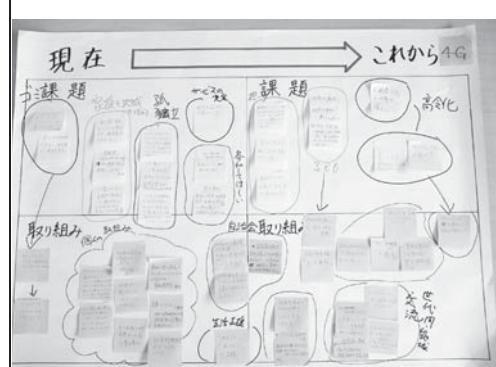
### まとめ

運転免許証返納等による高齢者の移動手段確保が大きな課題として挙げられ、「ゆりバス」のルートや台数等の見直し、移動スーパー等の新しい取組みの必要性についての意見がでました。

また、高齢者の見守りの点では、サロンや行事等に誘っても参加しない、ひとり暮らし高齢者にどうやって参加してもらうか、サロンや配食ボランティアの高齢化による後継者不足といった課題を共有しました。

若者が地域から出て行ってしまいその結果子どもが減っていることから、子育て支援の充実と地域産業を発展させて働く場をつくることで若者を呼び戻せないか、担い手不足に対応していくため人材バンクをつくれないかなど、課題解決に向けたこれからの取組みについても話し合われました。

全体として、自治会、特に班活動を実践の基盤と考えての課題や取組みが挙げられており、また、地域だけでなく社協等他の資源もうまく活用していこう、といった意見も共有しました。



### 3. 平成29年度 組織構成会員種別会

名張市社協組織構成会員（第3・4・5・6種）を対象に、見直し計画（素案）の提案に基づき、「ともに支えあう暮らしやすい地域づくり」をテーマに各種別で意見交換を行い、全体発表で共有を図りました。また、種別会に対しては、互いの活動や課題を知り合うことができ連携のきっかけになった様子や、他の種別との意見交換も行いたいといった意見もありました。

○日時 平成30年2月17日（土）13：30～16：11

場所 名張市総合福祉センターふれあい

#### ○組織構成会員

種別	会員数	出席者数
第1種 地域づくり組織	15	—
第2種 民生委員児童委員協議会連合会	1	—
第3種 社会福祉事業施設	11	5団体（5名） 社会福祉法人連絡会より1団体1名
第4種 障害者団体等当事者団体	14	8団体（8名）
第5種 ボランティア団体	120	43団体（48名）
第6種 その他社会福祉に関係のある団体	22	9団体（9名）
第7種 社会福祉関係行政機関	1	—
第8種 学識経験者	2	—
計	186	65団体（70名）

#### ○意見交換会

##### 第4種 障害者団体等当事者団体

###### テーマ「連携した取組み」について

- ・各々の課題や取組みが共有できる今回の場は有効。
- ・会員や支援ボランティアが集まらない。この機会に連携し合い、人員の確保に取り組んでいきたい。



###### 見直し計画（素案）について

- ・実行できるだけの職員が確保されていない。さまざまな知恵や協力を得て取り組めないか。
- ・地域福祉推進懇談会では、テーマに関わる団体等広く参加を呼びかけてほしい。

##### 第6種 その他社会福祉に関係のある団体

###### テーマ「連携した取組み」について

- ・各団体の活動において、地域や社会、企業等との連携が必要。
- ・互いを知り合うことで解決できる問題もある。多種多様な人が集まり会議や活動することが大事。
- ・今回の場のように互いに声かけえることは貴重。



###### 見直し計画（素案）について

- ・見直しにあたり福祉活動の変化とその後の取組みについて知りたい。

### 第3種 社会福祉事業施設

#### テーマ「地域における公益的な取組み」について

- ・できる範囲でできることは実践している。（職員派遣、地域交流、施設の場提供、地域防災協力等）
- ・情報収集や連携のため、ネットワークの場でさまざまなことを検討していく必要があり、社協にはそのコーディネーターとして一翼を担ってもらいたい。



#### 見直し計画（素案）について

- ・もっと分かりやすい言葉での表現を。・取組みのゴールを明確に設定してもらいたい。
- ・ニーズ（優先順位）の高いことからやってもらいたい。

### 第5種 ボランティア団体

#### テーマ「ミドルエイジの地域活動デビュー企画」について

- ・ミドルエイジの参加はすぐには難しい。将来参加してもらえるよう今からきっかけをつくる。
- ・知り合うこと、顔を合わす機会をつくり知ってもらうようにする。

世代間交流の場をつくる。

多くの親子が参加する地域イベントをその機会とする。

子どもに関する企画で、準備や運営に巻き込んでいく。

- ・ムリを承知で声をかけても、参加してくれることがある。  
知り合いからの声かけは有効。
- ・過度な期待はしないほうがよい。
- ・大人になったら活動してもらえるよう子どもたちのボランティア育成。
- ・趣味に忙しい人が増えている。その趣味を活かした活動をボランティアへの一步に変える。
- ・ボランティア活動はムリをしないこと。義務ではなく協力したいと思ってもらえるように。

ボランティアのいいところを伝えていく。

新メンバーを受け入れる温かい雰囲気づくり。

- ・地域でのさまざまな活動を知り、子どもたちが地域に育ててもらっていると感じている親として、将来地域活動に参加したいと思っている。

活動への感謝があり、自分もそのお返しに役立ちたいと思っている。



#### 見直し計画（素案）について

- ・社協の「活動支援」強化に期待。
- ・計画倒れにならないよう優先順位とやるべきことを明確にしてある。
- ・免許返納を考えているので循環バスはありがたい。
- ・住民にわかりやすいよう漫画風にしてみるのはどうか。



平成30年（2018年）3月発行

社会福祉法人 名張市社会福祉協議会

〒518-0718 三重県名張市丸之内 79

名張市総合福祉センターふれあい内

電 話 0595-63-1111

F A X 0595-64-3349

メール [info@nabarishakyo.jp](mailto:info@nabarishakyo.jp)



NABARISHI SHAKYO

# 社 協

名張市社会福祉協議会

<http://www.nabarishakyo.jp>

誰もが

住み慣れたまちで

安心して

自分らしく

暮らせる

福祉のまちづくり

